

ぷろぼの テレワーク支援センターコペルとは

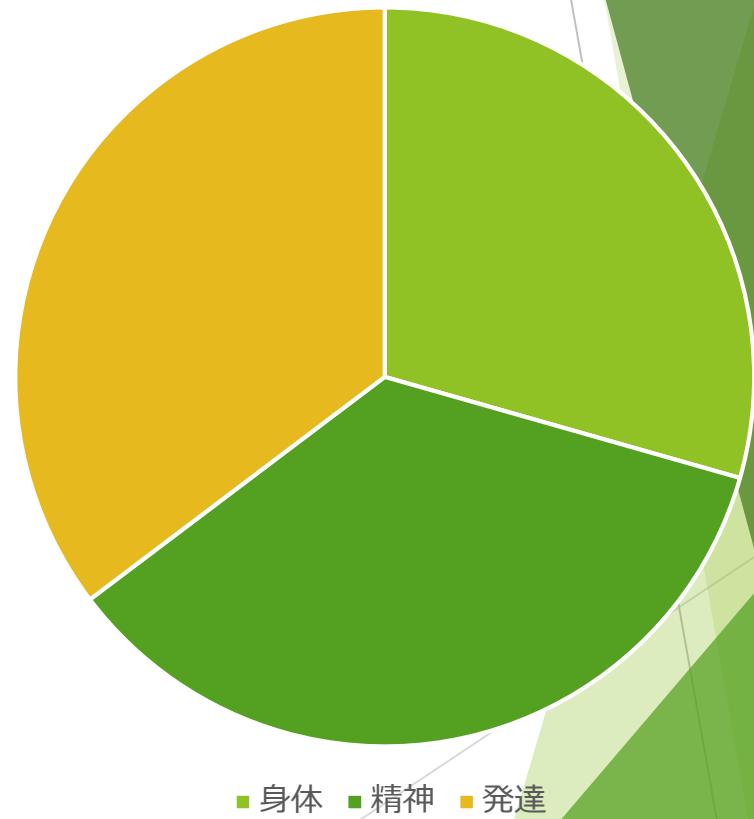
社会福祉法人ぷろぼのの障害者の就労移行支援サービスの一つとして、テレワーク就労を希望される方に、在宅訓練等の就労に向けて必要となる能力のトレーニングを実施しています。



ぷろぼのからのテレワーク就職者について

テレワーク支援を開始した2019年から
2021年9月までのテ
レワークでの就職者
は計17名

就職者数



現在のテレワーク訓練利用者について (2021.9月現在)

現在の訓練生は計22名

昨年と比べると、精神障害の方は6名から11名、発達障害の方は4名から11名に増加しています。

テレワーク訓練利用者



障害当事者の在宅就労の希望理由

障害名	在宅就労を希望する理由
不安障害	人の多い環境が苦手、視線や声が気になってしまう
適応障害	公共交通機関が苦手、周囲の視線や声が気になる
統合失調症	同僚と温かな人間関係の維持が難しい
身体（片麻痺）	移動に負担がある。リハビリの時間との兼ね合いを考えて在宅を希望
身体障害	呼吸補助器具が必要で、外出が困難なため
発達障害	パソコン操作は得意だが、対人対応が苦手
発達障害	男性が苦手、外に出て働くより家で働きたいと希望

対面よりも、画面越しの方が
コミュニケーションがとれる

孤独だと思っていたが、
職員と一対一でコミュニケーション
できる時間が多い

サービス利用開始から就労まで

利用開始

- 体験利用（2週間程度）

事業所にてテレワーク訓練に対する適性確認

- 本利用

テレワーク就労訓練

企業とのマッチング

- 応募書類の作成

→本人の出来る事や障害の配慮事項など整理

- ハローワーク求人、人材紹介サービスの活用

テレワーク訓練の内容

- ・ タイピング
- ・ ワード、エクセルの応用問題
- ・ 入力ワーク：帳票のデータ入力
- ・ ビジネスマナー講座
- ・ 音声文字おこし：会議録音データ等を文字情報に書き出す
- ・ デザイン：イラストレーター、フォトショップなど
- ・ プログラミング：web制作やデザイン、ホームページ更新等

テレワーク訓練の1日の流れ

- 9:30 PC起動、クラウド上で体調記録、web通話システム準備
- 9:50 全体朝礼：映像と音声をつないで連絡事項・訓練内容の確認
- 10:00 訓練開始
- 11:25 訓練終了・日報の記入
- 11:35 職員とweb通話、日報の報告 → 終礼後、午前の訓練終了

- 12:00 昼休憩
- ～13:00
- 13:00 全体昼礼：映像と音声をつないで連絡事項・訓練内容の確認
- 13:30 訓練開始
- 14:35 午後の休憩（15分）
- ～14:50
- 15:25 訓練終了・日報の記入
- 15:35 職員とweb通話、日報の報告 → 終礼後、午後の訓練終了

※職員への質問や報告はチャットで実施。内容が多い時はweb通話も活用。

テレワーク就労の特徴① (地方とテレワーク)

- ・奈良県は障がい者雇用率全国 1 位

民間企業における実雇用率は2.83%（2020年）

- ・大阪府の最低賃金は992円、奈良県は866円（2020年10月発効）

- ・テレワーク就労では、就労先の会社の所在地の最低賃金を得ることが可能。奈良県に住みながら東京都や大阪府の最低賃金で働くことが可能となる。

テレワークの就労の特徴②

	通常訓練	在宅訓練
訓練の方向性	対人スキル重視	技術的スキル重視
アセスメント	職業準備性のボトムアップ	職業準備性のトップダウン
就職活動	社会性重視	技能重視
支援の方向性	課題解決型	特定技能特化型
就労イメージ	通勤／通所	在宅／テレワーク
訓練実施における負荷	状況への対応	訓練環境の整備
指示理解のベース	現場説明 (口頭／実演／体験)	マニュアル／テキスト (文章理解／質疑応答)
職員に求められる能力	察知能力 (観察型のアセスメント)	分析能力 (読み解き型のアセスメント)
振り返りのタイミング	タイムラグを発生させない	タイムラグの発生が前提

ぷろぼの的就労支援と テレワーク訓練

- ・ 限られた時間の中で訓練を行い、
「時間意識」を養う
- ・ 勝手な行動や自己判断をせず、
「適切な報連相」を行う

テレワーク就労後の定着支援について

就職者の職場への定着支援として 就労定着支援というサービスがあります。

就労してから3年半後まで、支援者によるサポートが継続できます。

<定着支援の内容>

- ・ 定期的な近況確認を実施（本人や職場の方）
- ・ 業務等で不安がある方は事業所やwebで面談
- ・ 職場担当者との連絡、情報共有など